

わが村は美しく

倶知安町編

第十回 奨励賞

北海道倶知安農業高等学校
(日本酒プロジェクト)



とうじ みずぐちわたる
大正5年創業の地元酒蔵・二世古酒造杜氏 水口渉さんから酒造りの指導を受ける生徒たち。



羊蹄山麓の気候で作った米と湧水で醸した純米吟醸酒「忠」令和5年札幌国税局新酒鑑評会で3年連続となる金賞を受賞。

お話をしてくれた人



北海道倶知安農業高等学校 校長
西村 博幸 (にしむらひろゆき) さん



酒米の栽培から日本酒醸造へ
未利用の酒粕を有効活用。
スイーツやコスメ商品化にも挑戦

米作りから酒造りまで
高校生の日本酒が誕生

ニセコ連峰の主峰・ニセコアン
スプリの麓にある倶知安町比羅
夫は、極上の雪を求め海外か
らも多くスキー客が訪れるリ
ゾート地。町の南側には蝦夷富
士と呼ばれる羊蹄山がそびえ
る。この豊かな自然資源を生
かし、ジャガイモなどの産地と
しても知られている。

北海道倶知安農業高等学校
は、後志管内で唯一米の栽培を
学ぶことができる。特に学科を
超えて取り組む専攻班活動が
秀逸だ。

「二〇一九年から、地産業の
振興・発展に貢献すること、
地域外国人との共生を目指し
地域活性化プロジェクト「酒米の
栽培から地域の逸品『日本酒』
造りへの挑戦」が始まりました。

作物班と生活班が中心に取り
組んでいます」と杉本忠宏教頭
は話す。

作物班は、二〇一九年から酒
造り適米「彗星」の栽培を始め、
田植え作業など地域外国人を
招いた交流活動も行っている。

さらに地元酒蔵、二世古酒
造の協力のもと、収穫した「彗
星」で醸した純米吟醸酒「忠」の
製造も開始。生徒たちは製造
工程を学びながら、日本酒のラ
ベルもデザインし、二〇二〇年
に初めて発売。以降、毎年、製
造販売されている。

作物班の森心音さんは赤井
川村から通学している。「米作
りだけではなく酒造りも学べて
楽しいです。かつて祖父が農業
をしていました。高校で学んだ
ことを生かして将来的には新規
就農も考えています」と農業へ
の思いを熱く話してくれた。

第10回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しく－北海道」運動

倶知安町へはJR函館本線倶知安駅で下車。周辺を散策するなら、小樽
駅などから駅レンタカーを利用すると便利。日本酒「忠」は二世古酒造やコー
プさっぽろ倶知安店で購入できる。2月中旬には「雪トピアフェスティバル」も
開かれる。

お問い合わせ／☎0136・22・1148



4 粉碎した酒粕パウダー「さけの粉」を製造する作業。周囲にはほんのりお酒の匂いが…。



3 収穫した酒米を使って蔵元での醸造実習へ。杜氏から説明を受けた後、仕込みに初挑戦。



7 「バードベイクショップ」の「カヌレ」。フランスの伝統菓子で外はカリッと中はもちもちで美味。



6 「さけの粉」を使用したロールケーキを地元の「ホテルニセコアルペン」が製造。地元イベントなどで販売し、大好評のうち2週間で終了。



5 酒米「彗星」の生育調査をしている様子。米の出来が、日本酒にも影響するとあって、日々の調査も気が抜けない。

酒粕を使ったスイーツを 地域ブランド商品に

一方、生活班では「日本酒」造りの過程で生まれる酒粕に着目。酒粕は、栄養豊富でありながら大量に廃棄されているという現状を知り、消費拡大と食品ロス削減を旨として有効活用する活動を始めた。

酒粕を乾燥させて、パウダー状にした酒粕パウダー『さけの粉』を開発。小麦粉などと混ぜて使え、汎用性は拡大。そこで地元の菓子工房「みやたけ」と連携し、酒粕クッキーとマドレーヌの商品化に成功して、町内でも好評を得ている。

昨年は、町内の「バードベイクショップ」に売り込み、カヌレ、フィナンシェの商品化にもつなげた。同店の金野まなみさんは「生徒が酒粕パウダーを手に飛び込みで来てくれました。パウダーなら使いやすいとすぐに試作に取り掛かりました。酒粕は美容にも良いので、今後いろいろな使ってみたんです」と話す。

実家が二世古酒造という水口倅那さんは「酒粕のマドレーヌは、おいしくてびっくり。廃棄されている酒粕の活用法を知り、いろいろチャレンジしてみました」と話す。

三年の守屋さくらさんは「酒粕の良さを健康と美容の両面からアピールしていきたい。今は、コスメ商品としてハンドクリームの商品化を計画しています」と酒粕の新しい取り組みにも意欲をみせた。

西村博幸校長はこう話す。

「未成年の高校生が日本酒を造ることに違和感があるかもしれませんが、地域の方々にはたくさん応援をいただいております。できあがった日本酒は二十歳の自分への贈り物として卒業生に贈られています。生徒は日頃お世話になっている方々の喜ぶ顔を思い浮かべながら、日本酒造りの実習に取り組んでいます」と強調する。

日本酒プロジェクトは地域と地元高校生とともに、今日も育っている。



「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311(内線5685)

